

科目名	現代社会論<各論> 現代社会における子ども、家庭の支援		担当教員	柴田敬道		
			担当形態	単独		
テキスト	適宜紹介する。	単位数 授業形態	4単位	演習	開講時期	通年
<p>講義概要</p> <p>■到達目標 虐待を始めとするおける子ども、家庭に関わる様々な問題を取り上げ、現実を直視ながらその背景である現代社会の課題を考察し、それらの課題にどのように立ち向かっていくのか、子ども、家庭の支援者としてのミクロからマクロに渡る視点を養う。</p> <p>■授業の概要 【現状と課題】 一家庭や社会での生活が困難になる子どもたちがいる。そうした子どもたちや家族を支える福祉制度を学びつつ、現代社会における「子ども」「家庭」の現状と課題をあぶり出す。(ビデオ教材等使用) 【現場の声を聴く】 一児童福祉施設見学等を通し、現場最前線で携わる職員の生の声に触れ、更に理解を深める。 【支援の方法と技術、姿勢】 一子どもや家庭、地域を支援するための具体的な方法と技術、そして支援者としての基本姿勢を、事例、ロールプレイングを通して考える。</p> <p>※フィールドワークを重視する。最前線の現場で働く職員や当事者の声、事例等にできるだけ多く触れる機会を設定し、将来の保育士として子ども、家庭支援の実践につながる授業としたい。また、学内での授業はグループ討議を中心とした形式で進める。</p> <p>【現状と課題】 第1回 オリエンテーション、授業内容の組み立て 第2回 現代社会における子ども、家庭① 虐待、DV、非行、不登校、発達障害等 第3回 現代社会における子ども、家庭② 虐待、DV、非行、不登校、発達障害等 第4回 現代社会における子ども、家庭③ 虐待、DV、非行、不登校、発達障害等 第5回 現代社会における子ども、家庭④ 虐待、DV、非行、不登校、発達障害等 第6回 現代社会における子ども、家庭⑤ 虐待、DV、非行、不登校、発達障害等</p> <p>【現場の声を聴く】 児童福祉施設、子育て支援施設等の見学、ゲストスピーカーのお話等。 候補：児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、児童自立支援施設、児童相談所、児童家庭支援センター、市町村児童家庭福祉担当部署、里親 …他 第7回 講義と施設等の見学① 第8回 講義と施設等の見学② 第9回 講義と施設等の見学③ 第10回 講義と施設等の見学④ 第11回 講義と施設等の見学⑤ 第12回 講義と施設等の見学⑥</p> <p>【子ども家庭支援の具体的方法】 第13回 支援技術、方法の学習① 具体事例を通して、子ども、家庭の理解と支援技術、方法、多職種連携等を学ぶ。 第14回 支援技術、方法の学習② 第15回 支援技術、方法の学習③ 第16回 支援技術、方法の学習④ 第17回 支援技術、方法の学習⑤ 第18回 各論のまとめ① こども、家庭、地域社会へのアプローチ 第19回 各論のまとめ② こども、家庭、地域社会へのアプローチ 第20回 総論の発表準備① 第21回 総論の発表準備②</p> <p>※授業内容は流動的です。学生諸君の自発的学習を重視し、それに応えられるようにするためです。授業がどのように展開するかは学生諸君次第。追究したい個別テーマが浮上したら、それについて専門的学習に結び付けようサポートします。</p> <p>■準備学習 ・授業で指定した課題に取り組んだ上で、次回の授業に出席のこと。 ・子ども家庭福祉領域について状況を理解すること。 ・フィールドワークの際、積極的に質問事項を考えること。 ・その他、必要に応じて課題の提示に取り組むこと。</p> <p>■評価方法 ・授業に対する意欲(討議への積極的な取り組み、発言内容) — 20% ・レポートとその内容 — 30% ・施設見学への参加及び取り組み — 50%</p>						
参考文献	小木曾・宮本・鈴木編「よくわかる社会的養護内容」ミネルヴァ書房		特記事項	施設見学の交通費の自己負担があります。 【課題等のフィードバック方法】 提出されたレポートにはコメントを記入して必ず返却します。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼保	教養科目		